

2015年11月14日

大阪工業大学長

西村 泰志 殿

氏 名 柳澤 則文



論 文 目 録

主 論 文

題 目 火災時における鋼合成桁の

終局耐力と耐火対策に関する研究 1 篇 1 冊

副 論 文

(1) 審査論文

1. 柳澤則文, 越後 滋, 長谷亮介, 大山 理, 栗田章光: 橋梁用耐火パネルの性能評価, 構造工学論文集 Vol.58A, pp. 732~743, 2012.3.
2. Norifumi Yanagisawa, Shigeru Echigo, Osamu Ohyama and Akimitsu Kurita: Fire Protection Panel for Bridges, 18th CONGRESS OF IABSE, Seoul, Korea, September 19-21, 7A-7, pp. 1~8, 2012.
3. 柳澤則文, 今川雄亮, 大山 理, Marcus P. Rutner, 栗田章光: 合成桁橋の火災時における耐荷力に関する一検討, 日本建築学会・土木学会共催, 第10回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム, pp.27-1~27-8, 2013.11.
4. 柳澤則文, 長谷亮介, 大山 理, 栗田章光: 耐火パネルを取付けた合成桁の加熱実験, 鋼構造論文集 Vol.20, No.80, pp. 1~10, 2013.12.
5. 柳澤則文, 今川雄亮, Marcus P. RUTNER, 大山 理, 栗田章光: アメリカ・9マイル跨道橋の火災による落橋要因の一解析, 橋梁と基礎 Vol.48, No.6, pp. 26~30, 2014.6.
6. Norifumi Yanagisawa, Yusuke Imagawa, Osamu Ohyama and Akimitsu Kurita: N-Q-M Interaction of Cross Sections in Steel-Concrete Composite Beam, 10th Japanese German Bridge Symposium, Munich, Germany, September 16-19, Session 3 Bond 16:50~17:10, pp. 1~10, 2014.

7. 柳澤則文, 大山 理, 栗田章光: 火災時における鋼合成桁の終局耐力相関曲線に関する一検討, 土木学会論文集A1 Vol.71, No.2, pp. 255~266, 2015.8.

(2) 口頭発表論文

1. 長谷亮介, 柳澤則文, 大山 理, 栗田章光: 火災時における合成桁の受熱温度推定に関する研究, 土木学会 第65回年次学術講演会 CS2-049, pp.97-98, 2010.9.
2. 柳澤則文, 長谷亮介, 大山 理, 栗田章光: 橋梁への適用に向けた耐火パネルに関する基礎的研究, 土木学会 第66回年次学術講演会 I -079, pp.157-158, 2011.9.
3. 長谷亮介, 柳澤則文, 大山 理, 栗田章光: 火災時における合成桁の変形解析, 土木学会 第67回年次学術講演会 CS2-003, pp.5-6, 2012.9.
4. Osamu Ohyama, Norifumi Yanagisawa and Akimitsu Kurita: Fire Protection for Viaduct, International Workshop on Front Research and Technology in Structural Engineering, Structure Research Center (SRC) Osaka Institute of Technology (OIT), September 15, pp. 35~36, 2012.
5. 柳澤則文, 今川雄亮, Marcus P. Rutner, 大山 理, 栗田章光: アメリカ・9マイル跨道橋の火災による落橋要因の一解析, 土木学会 関西支部 年次学術講演会 第 I 部門, I -6, 2013.6.
6. 柳澤則文, 今川雄亮, Marcus P. Rutner, 大山 理, 栗田章光: アメリカ・9マイル跨道橋の火災による落橋要因の解析ー曲げとせん断力の相関ー, 土木学会 第68回年次学術講演会 CS3-001, pp.1-2, 2013.9.
7. 柳澤則文, 今川雄亮, 大山 理, 栗田章光: 高温時における合成桁の軸力と曲げの相関, 土木学会 第69回年次学術講演会 CS3-017, pp.33-34, 2014.9.
8. 柳澤則文, 大山 理, 栗田章光: 高温時における合成桁の軸引張力と正曲げモーメントの相関, 土木学会 第70回年次学術講演会 CS3-023, pp.45-46, 2015.9.